

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1文化・芸術活動への支援充実	②施策番号	7705
③まちづくりの方向〔政策（章）〕	1すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち		
④基本施策〔施策大（節）〕	5まちの風土や歴史的資産が今に息づくとともに、これらを基盤とした新たな文化が花開くまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	2市民文化の充実		
⑥担当部名	⑦担当課名		
教育部	文化振興課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

①施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	市民
②意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	公民館などにおいて、市民による自主的な文化・芸術活動に対する支援・および活動・発表・交流などの支援を充実させる。
③環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	公民館は、市民による様々な自主活動に利用されており、その成果を発表する団体数が増加する傾向にある。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	参加人数	人	市民による自主的な文化・芸術活動の発表状況を把握するため、参加人数を指標とした。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	参加人数	人	目標値	2,000	2,000	1,000	300	1,000	
			実績値	803	731	680	—	—	
			達成率	40.2%	36.6%	68.0%			
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方針	
1	文化・芸術活動推進事業	参加者	人	731	680	680	1,789	1,745	1,745	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						1,789	1,745	1,745			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	活動・発表・交流などの支援の充実により、多様な文化・芸術にふれることのできる機会を充実する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	市民や、団体の自主的な活動の状況が読み取れる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民や団体の活動に対し、学習発表の場の提供、施設の利用料金の減免、広報活動を支援し、関与は適切であると考え。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	市民が自ら考え、発表する場を提供することは、生涯学習を支援することにつながると考え、適切であると考え。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	今後、ますます活発化するであろう生涯学習社会において、市民の文化・芸術活動の場、発表の場を整えることは、大いに必要とされと考え、事業は適正であると考え。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	市民の学習の発表の場が、安全・安心できる環境に整える必要がある。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	市民が取り組む自主的な文化・芸術活動を支援し、広報などにおいて協力していく。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	市民による自主的な活動・発表・交流ができる機会を充実させる。
中長期的対応 (3～5年をめぐりに取り組む改善案)	継続し、市民の自主的な活動を、多方面から支援していく。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	市民による自主的な文化・芸術活動や発表を支援する事業として適切に行われている。 継続した支援により市民による自主活動がより充実・活性化されることを期待する。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある